

令和4年度 職員の給与の男女の差異の情報公表

特定事業主名： 宇治市

1. 全職員に係る情報

職員区分	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
任期の定めのない常勤職員	89.6%
任期の定めのない常勤職員以外の職員	85.6%
全職員	51.8%

2. 「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

* 地方公共団体における「任期の定めのない常勤職員」の給料については、各地方公共団体の条例で定める給料表に基づき決定されており、同一の級・号給であれば、同一の額となっている。

(1) 役職段階別

役職段階	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
本庁部局長・次長相当職	94.0%
本庁課長相当職	96.1%
本庁課長補佐相当職	97.0%
本庁係長相当職	95.1%

(2) 勤続年数別

勤続年数	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
36年以上	92.4%
31～35年	94.5%
26～30年	90.3%
21～25年	91.1%
16～20年	89.5%
11～15年	92.2%
6～10年	91.4%
1～5年	89.7%

【説明欄】

- ・国や府等からの出向者は、出向前の勤続年数を通算している。
- ・賃金水準の低い会計年度任用職員（任期の定めのない職員以外の職員）は職員全体の約43.9%を占めるが、女性の比率が約82.1%であるため、相対的に女性の給与水準が低くなる。
- ・扶養手当や住居手当について、世帯主や住居の契約者となっている男性に対して支給している場合が多く、扶養手当の受給者に占める男性の割合は87.2%、住居手当の受給者に占める男性の割合は73.1%である。
- ・男性の方が時間外勤務時間が長く、一人当たりの時間外勤務手当の平均支給額における男性に対する女性の割合は61.9%となっている。
- ・任期の定めのない常勤職員のうち、前歴を有する者の前歴年数の合計は、男性が女性より約2倍多く、同じ勤続年数でも前歴がより多く加味された男性の方が給与水準が高い。

* 勤続年数は、採用年度を勤続年数1年目とし、情報公表の対象となる年度までの年度単位で算出している。